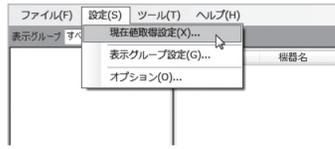




# 使ってみよう

## 現在値を表示する

1. スタート画面またはスタートメニューより[現在値モニタ]を起動します。
2. [設定]メニュー - [現在値取得設定]をクリックします。



3. 現在値取得設定ウィンドウが開き、**使い始める前に** ①で設定した親機をリスト表示します。

機種	親機名	シリアル番号	IPアドレス/ドメイン	ポート番号
RT-23BN	第二倉庫_RT-23BN	4F900555	192.168.5.100	62500

RT-23BNは同一ネットワーク内に接続されている必要があります。リストに親機が表示されない場合は[操作ガイド]-[困ったときは]-[設定に関するQ&A]をご覧ください。

### [Windowsセキュリティの重要な警告]ウィンドウが表示されたら

"アクセスを許可する"または"ブロックを解除する"を選択してください。

4. リストから対象親機をダブルクリックして、設定ウィンドウを開きます。

**使い始める前に** ①で設定したLANパスワードを入力し、[現在値を取得する]にチェックしたら、[OK]ボタンをクリックします。

IPアドレス/ドメイン: 192.168.5.100  
 ポート番号: 62500  
 パスワード: 1234567890  
 現在値も取得する  
 [OK] [キャンセル]

5. 現在値が表示されます。

表示グループ	すべての機器	親機名	機器名	機種	電池	日時	現在値	グラフ
第二倉庫_RT-23BN	Unit02	第二倉庫_RT-23BN	Unit02	RUW-21-mA	---	2011-10-28 13:38	エラー	<input checked="" type="checkbox"/>
第二倉庫_RT-23BN	Unit01	第二倉庫_RT-23BN	Unit01	RTW-21S		2011-10-28 13:38	25.9 °C	<input checked="" type="checkbox"/>

- ・現在値を表示するまで最大1分かかる場合があります。
- ・現在値欄に「エラー」と表示されたら、子機との無線通信に失敗しています。頻繁に発生する場合は**[Tips 電波強度の確認方法]**をご覧ください。

### 表示間隔を変更する場合

表面 **使い始める前に** ①の[現在値モニタを利用する設定をする]をご覧ください。

## 記録データを手動で吸い上げる

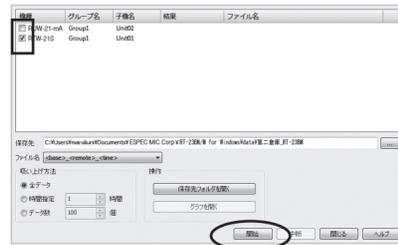
ここでは遠隔にある親機にネットワーク接続して、任意のタイミングで子機から記録データを吸い上げる方法を説明しています。

1. RT-23BN設定ユーティリティを起動します。  
[設定ユーティリティ - メインウィンドウ]が開きます。
2. [操作]メニューから[ネットワーク検索]をクリックすると、**使い始める前に** ①で設定した親機をリスト表示します。
3. 対象子機が登録されている親機を右クリックします。  
ポップアップメニューより[記録データ吸い上げ]を選択します。



4. **使い始める前に** ①で設定したLANパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします。

5. [記録データ吸い上げ]ウィンドウが開きます。  
対象子機にチェックを入れ、保存先を確認して[開始]ボタンをクリックします。



6. 正常に吸い上げが完了すると、結果欄に「完了」と表示します。  
保存先で指定したフォルダに記録データのファイルが作成されます。

RT-23BNは自動で記録データを収集することができます。設定方法は[操作ガイド]-[RT-23BN]でできること - [記録データを送信する]をご覧ください。

## 記録データをグラフ表示する

1. 保存先にある記録データファイルをダブルクリックします。
2. 温度・湿度グラフまたはマルチスケールグラフが起動し、グラフを表示します。

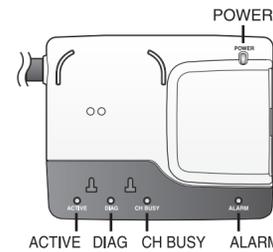
## グラフを印刷する

1. グラフウィンドウのサイズを調整します。  
印刷時の縦横比になります。
2. [ファイル]メニューより[印刷プレビュー]を選択します。  
必要に応じて手順2.に戻り、縦横比を調整します。
3. [印刷]ボタンをクリックします。

ESPEC GraphをWebサイトからダウンロードして、温度・湿度グラフやマルチスケールグラフの代わりにご利用いただけます。  
機種に関係なく、記録データファイルを複数読み込み・結合・保存できるほか、表示しているグラフへのコメントやメモの追加といった編集機能もあります。

<https://www.monitoring.especmic.co.jp/support>

## Tips LED表示について



LEDの状態	説明
●点灯	ACTIVE
●点滅	ACTIVE
○消灯	DIAG
●点灯	DIAG
○消灯	CH BUSY
●点灯	ALARM

## RT-23BNの初期設定値

親機名	RT-23BN_シリアル番号
LANパスワード	password
ネットワーク設定	DHCP: ON
通信ポート番号	62500

## 目? 困ったとき・詳細情報は



- 基本ガイド (pdf):** 本書をPDFファイルで記載しています。
- 操作ガイド (ヘルプ):** 画面・イラストを使ったわかりやすい解決策や、よくある質問など、本書に記述されていない詳しい操作方法を記載しています。
- 機器を認識しないときは:** 機器を接続しても画面が変わらない場合に参照してください。USBデバイスドライバのインストール、確認方法を詳しく記載しています。
- サポート:** Webサイトを開きます。  
サポートページからお問い合わせいただけます。

## Tips 電波強度の確認方法

機器を追加・移動したとき、通信エラーが頻発するときは、親機と子機間の電波強度を確認してください。

1. RT-23BN設定ユーティリティを起動します。  
[設定ユーティリティ - メインウィンドウ]が開きます。
2. [操作]メニューから[ネットワーク検索]をクリックすると、**使い始める前に** ①で設定した親機をリスト表示します。
3. 対象親機を右クリックして、ポップアップメニューより[親機設定]を選択します。



4. **使い始める前に** ①で設定したLANパスワードを入力し、[OK]ボタンをクリックします
5. [無線ルート設定]メニューの[電波強度の確認]ボタンをクリックします。



6. [開始]ボタンをクリックします。  
通信に成功すると、結果を表示します。

## 電波強度の結果



	通信が可能です。(緑色)
	通信が安定しない可能性があります。(黄色) 機器の設置位置を調整してください。 通信エラーが頻発する場合は中継機を追加してください。
	アンテナのマークが何も表示されないのは通信エラーです。 機器の設置位置を調整してください。 改善しない場合は中継機を追加してください。

電波強度結果リストでは、指定したグループ内の機器同士の電波強度を、数値と色で表示します。

3~5 (緑)	通信が可能です。
1~2 (黄)	通信が安定しない可能性があります。 エラーが頻発する場合は中継機を追加してください。
(白)	通信が不可能です。

機器	親機	中継機1	中継機2
中継機1	4	4	1
中継機2	3	1	2
直結機A	1	2	5

この通信結果の場合、中継機2と中継機1の通信が不安定です。

\* 中継機設定については操作ガイド(ヘルプ)を参照してください。